

まちの話題

2月25日[Sat]

第7回 孔子みそ料理学生選手権



▲工夫を凝らし、一生懸命調理する参加者

最優秀賞に選ばれた
みそなベリメイクシチュー▶



県内の高校生、専門学校生が孔子みそを使った料理の腕を競う「孔子みそ料理学生選手権」が、東原摩舎西溪校で3年ぶりに開催されました。

今回のテーマは「鍋料理」。296の応募のうち、県内の高校生8人が二次審査に進出し、審査の結果、熊本夕華さん(唐津南高校)が考案した「最後までおいしく! みそなベリメイクシチュー」が最優秀賞に選ばれました。

審査にあたったJAみそ加工グループの毛賀和子さんは「どれも甲乙つけ難く、上手に材料を使っていて素晴らしかったです」と参加者のアイデアと努力を称えました。

3月5日[Sun]

還暦野球多久クラブが優勝を飾る!



▲走攻守揃ったベストチームで令和5年度も優勝をめざします

佐賀県生涯軟式野球大会(主催:佐賀県生涯野球連盟)が開催され、還暦野球多久クラブが令和4年度のAリーグ優勝を果たしました。

還暦野球多久クラブは平成19年に結成し、57歳から72歳のメンバーで構成。この数年で新しいメンバーが続々と加入し、チーム力が強化。その結果、昨年度はBリーグ優勝、Aリーグに上がった今年度は優勝と、輝かしい成果を残しています。

西岡広文監督は「試合で力を発揮できるよう、毎週日曜日の午前中に欠かさず練習しています。令和5年度も優勝をめざして頑張りたいです」と熱意を燃やします。

3月10日[Fri]

義務教育学校で卒業式



▲「手紙〜拝啓 十五の君へ〜」を歌う卒業生のみなさん

市内の義務教育学校で卒業証書授与式が行われ、156人の卒業生が新たな道へと歩み始めました。

東原摩舎東部校では、在校生が見守るなか43人が卒業。富増晃二校長は「佐賀で生まれ、文教の里・多久で育った誇りを胸に、これからも頑張ってください」とはなむけの言葉を贈りました。

卒業生代表の渡末羽さんは「先生たちはコロナ禍のなかでも学びを止めない環境を整え、たくさんの思い出がくれるよう、私たちのために考えてくださいました。東部校で学んだ、自分たちで考え行動する力を生かし、これからも頑張ります」と感謝の言葉を述べました。

